

癌化学療法 投与計画書

病名: 再発難治性多発性骨髄腫

プロトコール名: **DBd療法(4~8サイクル用)**

クール目

開始日

次回予定日

身長(cm) 体重(kg) 体表面積(m²)

確認事項

- 2回目以降のダラザレックスの希釈液は、初回開始時から3時間以内にInfusion reactionが認められなかった場合、500mLにしてよい
- 3回目以降のダラザレックスの投与时速度は、忍容性良好時には100mL/hから開始可
- 76歳以上、BMI18.5kg/m²未満、コントロール不良の糖尿病又はステロイド療法に忍容性がない、もしくは有害事象を発現した患者に対し、デキサメタゾン20mg/週で投与可

※0.2µmのフィルターを使用すること

	薬品名	プロトコール標準量	投与量	経路	点滴時間・速度	コメント	DAY 1	DAY 2	...	DAY 4	DAY 5	...	DAY 8	DAY 9	...	DAY 11	DAY 12	標準投与量
							1月0日	1月1日	1月3日	1月4日	1月7日	1月8日	1月10日	1月11日				
1	生理食塩水			皮下注			○			○			○			○		ベルケイド
	ベルケイド	1.3mg/m ²		皮下注		1VあたりSS1.2mLで溶解	○			○			○			○		0.mg
2	ソルデム3輸液		500mL	点滴	3時間	1サイクル目day15以降1~3時間前にレナデックス内服してれば省略可	(○)											
3	生理食塩液		100mL	側管	1時間		○											
	デキサート(6.6mg)		3瓶	側管			○											
4	レスタミンコフ錠(10mg)		3錠	経口			○											
	カロナール錠(200mg)		4錠	経口			○											
5	生理食塩液		50mL	側管		前後フラッシュ用	○											
6	生理食塩液		初回1000mL、2回目以降500mL	側管	初回50ml/h(1h)→100ml/h(1h)→150ml/h(1h)→200ml/h	単独で前投薬投与終了1時間後に開始	○											ダラザレックス
	ダラザレックス	16mg/kg		側管	3回目以降100ml/h(1h)→150ml/h(1h)→200ml/h		○											mg
7	生理食塩液		50mL	側管		前後フラッシュ用	○											
8	レナデックス錠(4mg)	20mg/body	5錠	経口			○						○					

1サイクル: 21日
 投与日: ダラザレックス day1
 ベルケイド day1,4,8,11
 サイクル数: 5回